

アジア7か国の留学生が市長と面会

一橋大学国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム  
アジア7か国の留学生による市長表敬訪問

一橋大学国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラムは、世界経済におけるアジア経済の重要性が一段と高まっていく状況下、公共政策の理論と実務に関する深い知見を持った国際性のある人材の育成として、毎年15名ほどのアジア諸国の留学生の教育を行っておられます。

この度、同プログラムで実施されるフィールドワークの訪問先として、公害克服の歴史を有しアジア各国の環境改善に貢献してきた北九州市が選定され、アジア各国の留学生が武内市長を表敬訪問されることとなりました。

北九州市としては、アジア7か国の政府金融庁や中央銀行からの留学生に対し、北九州市の歴史や政策を学んでいただくことで、留学生が出身国に戻ったあとの関係性の構築、アジア各国での北九州市のプレゼンス向上を通じた、インバウンドの増加、将来的な海外投資の呼び込みなどにつなげていきたいと考えております。

多忙の折と存じますが、取材方よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和8年4月6日(月) 13:30~13:50
- 2 場所 北九州市役所本庁舎5階 プレゼンルーム
- 3 訪問団 一橋大学国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム  
井伊 雅子特任教授  
アジア7か国からの留学生 13名  
(バングラデシュ、カンボジア、インドネシア、日本  
モンゴル、フィリピン、タイ)  
合計 14名
- 4 対応者 北九州市長 武内 和久 他
- 5 内容(予定)  
市長挨拶  
訪問団代表挨拶  
市長による北九州市概要紹介  
意見交換  
記念撮影

問い合わせ先  
政策局グローバル挑戦部国際政策課  
担当：木庭、倉知  
電話：093-582-2146